

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故事例
2. 体験した事例の名称	水産センター飼育用コンクリート製水槽(空水槽)への転落事故
3. 体験した事例の中心的要素	水産センターの建物火災において、ホース延長中、飼育用コンクリート製空水槽(深さ 2. 2 m)の底部に、水槽の縁から転落し、右肩甲骨を骨折したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	夜間で周囲が暗かったため水槽の存在に気がつかなかった。

### 【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

## 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 18 年 3 月 29 日 午後 10 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：水産センターに設けられたコンクリート製の魚類の飼育用水槽
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	墜落・転落、
7. 事例体験時の活動	火災、その他の建物 [ 現場活動初期、 ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	ホース延長、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[ 53 ]歳、 勤続年数[ 34 ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ 消防司令補 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ その他 : 副中隊長 ]
○当事者 B	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者 C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

## 1.1. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A	コンクリート製飼育用水槽(空水槽)底部へ転落し、右肩甲骨を骨折した	
経過 2			
経過 3			
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。周囲の視界が確保できなかった。指揮者が適切に指示しなかった。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

b. 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 はい
  - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 いいえ
  - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

## 【事故発生後の取り組みについて】

・・・・・・・・・・・・・・・・

### ○注意力欠如、焦り等の対策について

関係者からの情報に基づき、周囲の状況をよく把握し、安全なホース延長経路を選定する。

### ○装備・資機材の対策について

### ○活動環境の対策について

夜間の暗がり及び足場の悪い場所については照明器具を用い行動の安全の確保を図ること。

### ○指揮・情報伝達の対策について

現場指揮者は、指示命令を徹底し、隊員が命令を理解したかどうか確認して隊員の安全確保に努めること